

第2節 平成29年度 資料館における社会教育活動

1. 山口県立山口博物館との共催事業『講座 古代ウォーク(萩市大井)』

当館は、平成27年(2016)6月24日に山口県立山口博物館(以下「山口博物館」)と連携協力協定を締結したが、以降毎年継続して実施している事業が「講座 古代ウォーク(開催年により名称が異なる)」である。これは、山口県内を県央部、東部、北部、西部の4ブロックに分け、順繰りに見学地域を設定し、出土資料を確認し、実際に遺跡地をめぐるという内容である。実施の際に重要視している点は、当該自治体と連携しながら埋もれている資料を含め出土資料を確認すること、周辺地形と遺跡の立地を確認するため、できる限り現地まで歩いて行くことなどである。

すでに平成29年度は県北部を対象とすることが決定していたことから、山口博物館との協議により小地域として萩市大井を選定し、10月14日(土)に『講座 古代ウォーク』を萩市教育委員会の後援にて開催することとなった。萩市大井は、現在でこそ人口の減少した農村・漁村地区となっているが、慶長年間の萩開府以前は長門北浦の拠点の一つであり、阿武国造の本拠地と推定される地域である。

開催にあたり、4月18日(火)にコース詳細設定のための現地視察、6月16日(金)に円光寺古墳の原位置確認視察、7月7日(金)に大井大寺廃寺礎石の現存数確認のため萩博物館石の小径を視察、そして直前の10月6日(金)に安全確認等のためのコース下見を行った。出土資料に関しては、当日までに実見することができなかつたため、開催当日に確認することとなった。また、募集定員は15名としていたが、大井住民の団体申し込みもあったことから、21名の参加で実施することとなった。当日のスケジュールは以下の通りである。

- 13時00分～13時40分 萩博物館にて資料(円光寺古墳出土品(山口県指定文化財)、円光寺埴輪窯跡採取品、大井大寺廃寺採取品)の解説と熟覧(写真14)
- 13時40分～14時20分 資料片付け・自家用車にて萩市大井公民館に移動
- 14時30分 天長山古墳(標高70mの山頂にある4世紀後半～5世紀初頭の古墳)遠望
- 14時35分 円光寺古墳(6世紀中頃の箱式石棺墳。単鳳環頭柄頭3、耳環2など)見学(写真15)
- 14時45分 円光寺埴輪窯跡(現在まで県内唯一の埴輪窯。5世紀末～6世紀初頭)遠望(写真16)
- 14時50分 円光寺穴観音古墳(全長11.2mの横穴式石室を有する古墳。6世紀末～7世紀初頭)見学(写真17)
- 15時50分 大井大寺廃寺(7世紀後半に大井平野の東端に造営された古代寺院跡。大井川の浸食により半壊している)見学(写真18)
- 16時15分 大応寺前に設置されている大井大寺廃寺塔心礎と礎石の見学(写真19)
- 16時50分 萩市大井公民館に戻り解散

限られた時間の中での往復約5kmの行程であったが、参加者全員で無事に歩ききることができた。道中、見学地間の距離が長い場合は、地元参加の方々が歩きつつ様々な情報を提供して下さるなど、主催者が準備した内容以上の成果を生み出すことができたと感じる。また、事前に円光寺古墳周域の草刈りを行っていただいたことも望外の喜びであった。

一方で、発見当初は地域の誇りとなっていた文化財も、時間が経過するとともに関心が薄まったことが、現地の案内看板や説明看板の少なさに表れていた。その現状を参加者と共有できたことも大きな成果の一つと言えよう。参加者からは「大井に住んでいて知らないことばかりでした」「適度な運動で、説明も分かりやすく楽しかった」「折角の遺跡等を平易な本にまとめて欲しい」などの声が寄せられた。



写真 14 萩博物館にて資料解説



写真 15 円光寺古墳見学



写真 16 円光寺埴輪窯跡遠望



写真 17 円光寺穴観音古墳見学

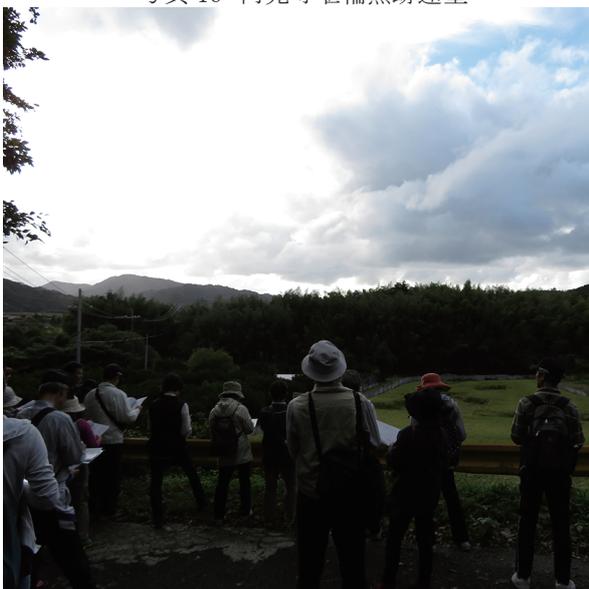


写真 18 大井大寺廃寺見学

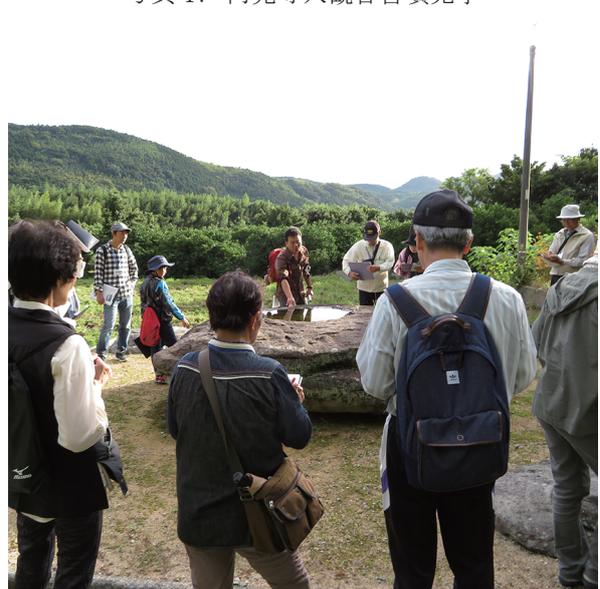


写真 19 大井大寺廃寺塔心礎・礎石見学